

令和7年度 学校運営協議会自己評価表 まとめ（学校保管用）

＜評価項目1＞学校運営の基本方針について熟議することができたか。

ア よくできた（4人） イ できた（4人） ウ あまりできなかった（1人） エ できなかった（0人）

- ・基本方針の承認にあたり、校長の説明を聞くだけでなく、授業参観をしての感想、地域行事「浜松まつり」での実践事例を話したりして、より良い学校運営のために委員が建設的な意見を述べることができた。
- ・校長先生から詳しく『学校運営の基本方針』を伺い、話し合いができました。立場が違う委員が意見を出し、目指す方向性が共有できました。
- ・校長からの説明は具体的であり、取り組みについて十分理解できた。各委員が責任感を強く抱き、プラス思考で積極的に発言し行動してくれていると毎回感じている。
- ・子供の学びの充実と安全・安心な学校生活を念頭に置き、各々の立場で意見交換することができた。
- ・温かくかかわる、積極的にコミュニケーションを大人からとる、については、自分が行った取り組みを伝えて理解してもらえた。
- ・基本方針はもとより、第2回の運営協議会では、学校側の設定で、教職員の皆様からも、貴重な意見を聞くことができた。また、基本方針が、現場の先生方にまで、行き届いていることも合わせて、確認ができ高く評価したい。委員についても改めて、多角的に理解できたと思う。
- ・学校より“支え合い”を強化したい、教職員の中でも話し合いを多くし、みんなで取り組んでいきたい、と言う話が合った。そして、今まで以上に、地域・保護者の方とのつながりも強化していきたい、協議会としても、協働センター、社協、体協など横の広がりもしていきたいと話した。
- ・今、学校がどのような方針をもって、学校教育を行っているのか、そのために必要なことは何かを知ることができた。
- ・昔の生活、遊びの講話など現場でのボランティア活動は、支障なくやってこれたと思いますが、運営について考えたこともなかったのが、覚えるのに精一杯で、満足・納得のいく発言は、できませんでした。

＜評価項目2＞承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動について熟議を進めることができたか。

ア よくできた（4人） イ できた（4人） ウ あまりできなかった（1人） エ できなかった（0人）

- ・熟議の結果、学校、家庭、地域がそれぞれ実行すべきこと、役割分担が明確になり、家庭学習をどのように進めるか、あいさつへの意識を高めるためには、どのようにすればよいかなどについて、様々な意見が出された。
- ・「できることをできる時に、できるところから」を合言葉に、クラブ活動・ボランティア・家庭科・園芸にと、幅広く活動ができました。自分を大切にする力、チャレンジする力の育成について、熟議できました。
- ・学校支援活動について、教育目標とのつながりや学校・家庭・地域の役割分担等授業参観や、学校側の説明をもとに委員間で活発且つ率直な意見交換ができた。
- ・重要性の高い活動に絞って熟議することで、濃い意見交換や自分の立場でできることのアイディアなどが多く出すことができた。

- ・学校の困りごとについて、自分なりの意見、提案をして、理解してもらえたと思う。
- ・委員の柔軟な発想で具体的な支援内容について語られるのが、素晴らしい。
- ・地域にタスキを配り、登下校や校区内での見守りを強化していく。また、ボランティアを増やしたり、学校へ多くの大人（ボランティア）が気楽に立ち寄れる場を設けたりすることで、子供たちを見守っていけるのではないか。
- ・今、学校が何をしたいと考え、それをどうすれば実施できるか、学校で今必要としていることは何で、それを学校運営協議会として、どう協力すればよいかを考えることができた。
- ・自分の子供達が小学校に通っていた時は、交代勤務や消防団活動していて、母親任せでした。知らなかった情報が、飛び交う中、皆さんの意欲に感心するばかりでした。

<評価項目3>協議会での協議結果について、十分に情報発信を行ったか。

ア よくできた（2人） イ できた（5人） ウ あまりできなかった（2人） エ できなかった（0人）

- ・学校だより、CSだよりなどで、広報活動をしているが、まだ十分でない所もあるので、自治会の回覧でも回して、地域の方にも活動の様子を知ってもらうようにする。
- ・学校ホームページやコミュニティスクール便りの発行で、情報の発信ができていると思う。保護者と話をする機会があるので、校長先生の熱い気持ちを伝えることができました。
- ・学校だよりで協議結果を知らせたり、ボランティアや応援団を募集したりして、情報発信を行っていた。また、保護者や地域、学校が活動した効果が見えた。
- ・一役員として周りに十分な情報発信ができなかった。
- ・自分はいいさつを軸に子供たちとの交流をと、考えているので、これからも、経験したことを伝えていこうと思う。
- ・趣向をこらして、十分行っていたと思う。委員間の横のつながりもしっかりできている。
- ・応援団の方々の活動をお便りにして、配信した。また、職員室前に写真を掲示した。
- ・個別に何が必要とされているかは分かったが、自分としてそれを人に周知できる体制が整っていなかった。
- ・登下校時の安全を確保する為に江東地区連合会として、自身や犬の散歩時、見守りボランティアのタスキをかけ、見守って頂くよう回覧し、募集する。

<評価項目4>今年度の評価を踏まえた来年度の目標。

- ・今年度の目標を継続する。
- ・学校、家庭、地域で一緒に子供達を育てる必要性と役割分担が大切だと思います。子ども見守り中のタスキをかけて、できることを活動していきたいと思います。
- ・出席委員から様々な建設的な意見が出ていた。それを具体化するためには、どのような手立てが必要か今後も学校と地域が連携するためのことを一緒になって話し合いを深めていきたい。
- ・地域へのタスキの普及⇒見守り強化、あいさつ強化。
- ・子供たちの主体性を育むCS活動。

- ・本年度同様、さらなる周知とご協力いただける体制を整える。
- ・来年度も、地域の子供たちと、より多くの交流ができるように、努力していこうと思う。
- ・“地域と共にある学校”を十分体現できていると思う。今後はこれを継続していくことが重要。
- ・学習ボランティア⇒第1歩として、“九九”検定ボランティア。
- ・自主性を高めるために⇒こどもボランティア浸透。
- ・参加して、1年目、3回の会合で、事業内容が分かってきました。しかしながら、自治会等、他の用事が多く、普段、学校のことについて考える余裕は、ありませんでした。授業、遊び、登下校などにもっと目を向け観察していきたいです。